

下地調整材・下塗り・中塗りの3つの機能を1つに
 外壁塗装の大幅な工期短縮を実現します。

水性1液型微弾性塗り替え用塗材

シルビアサーフ

改訂第9版



「シルビアサーフ」は、改修工事用下地調整材の2液ポリマーセメントやセメントフィラーの役割を兼ね備え、下地調整材・下塗り・中塗りの3工程を1回で仕上げられる塗り替え用塗材です。施工も容易で、優れた塗膜性能により、ほとんどの既存塗膜に強く密着。また、水性から弱溶剤の各種上塗り(トップコート)にも幅広く対応でき、強く美しい壁面を実現します。



▲山鼻サンタウン



▲尾道市立市民病院



特長

- 1 下地調整材・下塗り・中塗りが1つの工程で済み、工程を大幅に削減。工期を短縮できます。
- 2 用途・目的に合わせて各種の上塗り(トップコート)が選定できます。
- 3 補修・改修対象となる既存塗面のほとんどに対して強い付着力をもっています。
- 4 微弾性塗膜のため、躯体の動きや微亀裂に追随し、防水性を発揮。さらに、酸性雨、中性化などからも建物を保護します。
- 5 低臭タイプの1液水性塗料のため、安全で取り扱いも容易です。
- 6 材料・工程の削減により、現場での在庫管理の軽減、また容器などの廃棄物低減に役立ちます。

試験成績表

■ JIS A 6916下地調整塗材E準拠

試験項目	試験成績
低温安定性	合格
初期乾燥によるひび割れ対抗性	合格
付着強さ(N/mm ²) 標準養生	合格 0.7以上
付着強さ(N/mm ²) 浸水後	合格 0.5以上
吸水量	合格 2.0以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性(N/mm ²)	合格 0.5以上
可とう性	合格
容器の中での状態	良好
作業性	良好
乾燥時間(h)	3
塗膜の状態	良好

■ JIS A 6909可とう形改修塗材E準拠

試験項目	試験成績
低温安定性	合格
初期乾燥によるひび割れ対抗性	合格
付着強さ(N/mm ²) 標準養生	合格 0.7以上
付着強さ(N/mm ²) 浸水後	合格 0.5以上
透水性B法	合格 0.5以下
耐衝撃性	合格
ひび割れ充填性	合格
耐候性A法	合格
可とう性	合格
容器の中での状態	良好
作業性	良好
乾燥時間(h)	3
塗膜の状態	良好

下地調整材・下塗り・中塗りの3工程を1回で仕上げる工期短縮工法——シルビアサーフ。

■従来の複層塗材による施工

従来の複層塗材による施工は、5つの工程を必要とします。

■シルビアサーフによる施工

シルビアサーフによる施工は、1つの工程で完了します。

上塗り (トップコート)

超耐候性・超低汚染・遮熱タイプ	●シルビアセラティーN遮熱上塗り (2液水性ハイブリッド無機樹脂遮熱塗料)
超耐候性・超低汚染タイプ	●シルビアセラティーN上塗り (2液水性ハイブリッド無機樹脂塗料)
超耐候性・低汚染・遮熱タイプ	●シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱 (1液水性有機・無機ハイブリッド樹脂遮熱塗料)
超耐候性・低汚染タイプ	●シルビア1液ハイブリッドセラ (1液水性有機・無機ハイブリッド樹脂塗料)
高耐候性・低汚染・遮熱タイプ	●パラサーモシリコン外壁用 (2液弱溶剤シリコン樹脂遮熱塗料)
	●水性パラサーモ外壁用 (1液水性シリコン樹脂遮熱塗料)
高耐候性・低汚染タイプ	●シルビアNADシリコン (2液弱溶剤シリコン樹脂塗料)
	●シルビアWF-400 (1液水性フッ素樹脂塗料)
	●シルビア1液スーパーシリコン (1液弱溶剤シリコン樹脂塗料)
	●シルビアWS-300 (1液水性シリコン樹脂塗料)
低汚染・遮熱タイプ	●パラサーモ外壁用N (2液弱溶剤ウレタン樹脂遮熱塗料)
低汚染タイプ	●シルビアNADウレタンN (2液弱溶剤ウレタン樹脂塗料)
	●シルビアWU-200 (1液水性ウレタン樹脂塗料)
上塗り塗料	●シルビアWA-100 (1液水性アクリル樹脂塗料)

シルビアサーフ

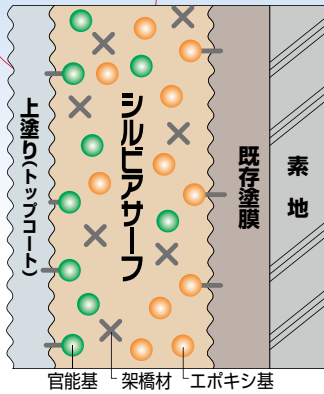
- 大波工法(砂骨ローラー仕上げ)標準塗布量0.8~1.5kg/m²
- ウールローラー工法(ウールローラー仕上げ)標準塗布量0.3~0.5kg/m²
- ゆず肌工法(吹付仕上げ)標準塗布量0.5~1.0kg/m²

※上記塗布量は被塗物の形状、状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
※塗布量が少ない場合、上塗り施工時にリフティングが発生する原因となります。

下地処理

- 高圧水洗機などにより、汚れやチョーキングを除去してください。
- 既存塗膜の付着が弱い場合は除去してください
- 0.3mm以上のクラックは、適切な処理を行なってください。
- コンクリート・モルタル・下地処理材により補修した部分は、必ずNT水性カチオンプライマーを塗布してください。

既存塗膜と上塗り(トップコート)の双方に強い密着力をもつ特殊アクリルエマルジョン樹脂を採用。
あらゆる下地に強力に密着し、優れた耐久性を発揮します。



シリビアサーフに使用している特殊アクリルエマルジョン樹脂は、既存塗膜に対して強い密着力をもつ「エポキシ基」と、トップコートに高い密着性をもつ「官能基」を架橋材で結びつけることにより、旧塗膜およびトップコート双方に対して優れた密着力を発揮します。あらゆる既存塗膜に使用できるばかりでなく、水性・溶剤型など、トップコートのタイプも問いません。下地調整材・下塗り・中塗りの3工程を1回で仕上げられる効率のよさとともに、塗膜は緻密で弾力性があり、防水性・耐水性・耐久性にも優れた効果を発揮します。

■シリビアサーフの下地に対する付着力

単位：N/mm²

薄塗仕上塗材	複層塗材(吹付タイル)		弾性厚塗塗材		厚塗スタッコ塗材	
	Eタイプ	RSタイプ	単層タイプ	複層タイプ	無機質タイプ	有機質タイプ
アクリルリシン	0.96	0.89	1.10	0.90	1.27	1.10

※試験方法：建研式接着力試験機によります。

荷姿

- NT水性カチオンプライマー15kg
- シリビアサーフ16kg
- 水性タイプ
- シリビアセラティー N遮熱上塗 15kgセット(A液:14kg, B液:1kg)
3.75kgセット(A液:3.5kg, B液:0.25kg)
- シリビアセラティー中塗16kg, 4kg
- シリビアセラティー N上塗 15kgセット(A液:14kg, B液:1kg)
3.75kgセット(A液:3.5kg, B液:0.25kg)
- シリビアセラティー遮熱中塗16kg, 4kg
- シリビア1液ハイブリッドセラ遮熱16kg
- シリビア1液ハイブリッドセラ16kg
- 水性パラサーモ外壁用16kg
- シリビアWF-40016kg, 4kg
- シリビアWF-400専用中塗16kg, 4kg
- シリビアWS-30016kg, 4kg
- シリビアWU-20016kg, 4kg
- シリビアWA-10016kg, 4kg
- 弱溶剤タイプ
- パラサーモシリコン外壁用16kgセット(A液:14kg, B液:2kg)
- パラサーモ外壁用N15kgセット(A液:13.5kg, B液:1.5kg)
- シリビアンADシリコン 14kgセット(A液:12kg, B液:2kg)
3.5kgセット(A液:3kg, B液:0.5kg)
- シリビアンADウレタンN 15kgセット(A液:13.5kg, B液:1.5kg)
4kgセット(A液:3.6kg, B液:0.4kg)
- シリビア1液スーパーシリコン15kg, 4kg

【大波工法】

(砂骨ローラー仕上げ)



各種上塗り(トップコート)

シリビアサーフ

既存塗膜(リシン面)

【ウールローラー工法】

(ウールローラー仕上げ)



各種上塗り(トップコート)

シリビアサーフ

既存塗膜(吹付タイル面)

【ゆず肌工法】

(吹付仕上げ)



各種上塗り(トップコート)

シリビアサーフ

既存塗膜(吹付タイル面)

※この見本は印刷ですので、実際の施工とは色調・パターンに多少の違いが生じる場合があります。ご了承ください。

SILVIA SURF

施工上の注意点

【素地調整について】

- 規定の希釈量を超えて、規定の標準塗布量以下で施工した場合、期待する弾性機能が発揮されないことや、吸い込みによる上塗り外観不良のおそれがあります。
- 粗面やALC面、多孔質下地など、下地に問題がある場合は「NTカチオンシリーズ」などを使用し、素地調整を行なってください。その後は「NT水性カチオンプライマー」を塗布してください。
- 風化面、吸い込みの多い下地の場合は再度、プライマーを増し塗りしてください。
- 既存塗膜の劣化状況によっては、別途プライマーや目荒しが必要になります。
- 素地の状態は表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2型)または5%以下(ケツ科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 表面のチョーキング、ごみ、ほこり、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行なってください。
- 高圧水洗機が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、ごみやほこり、かび類、藻類を完全に除去してください。著しくかびや藻の発生しやすい環境下では、防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。

【塗料と塗装について】

- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じることがあります。
- 使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- 外壁表面を水洗した後や雨、露、霜で濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。
- 降雨、降雪が予測される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上の塗装は避けてください。
- 塗膜が十分に乾燥しないときに降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面の白化や割れ、シミ、低汚染機能の喪失などが発生する可能性がありますので水分の影響を受ける場合は施工しないでください。また、乾燥までの時間を考慮して作業を実施してください。
- 材料の保管は直射日光を避け、雨露のあたらない冷暗所に保管してください。
- 希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈量は材料温度、下地の状況、施工条件、施工方法により変化しますので事前に試し塗りを行なってください。
- 補修塗りを行う場合は、使用塗料のロット、希釈量、塗装方法などの条件を同一にしてください。また塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで仕上がりに差がでることがあります。ローラー塗りと刷毛塗りが混在する場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行なってください。またローラー塗りの場合は、ローラーの目により仕上がりが色相が異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
- 塗装後、塗膜が乾燥するまでに養生テープを剥がしてください。塗膜乾燥後に養生テープを剥がす場合はカッターナイフなどを用いて取り外してください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、

- 高圧水洗機やスプレー塗装の際は、施工中のミスト飛散防止の養生を充分に行なってください。
- 油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
- ハイブールフやNT弾性コートなどの高弾性タイプの塗料が施工されている場合は、塗膜の割れを引き起こしますので使用しないでください。
- 塗り替え塗装で既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、2液溶剤系シリコン樹脂塗料、弾性スタッコ、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに剥れている、また既存塗膜の表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと膨れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発砲ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。既存塗膜面を剥離した部分は、なるべく既存塗膜と同一種類の塗料を用い、パターンの復旧を行なってください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状況、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。

- 合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けてください。また、これらの部位に塗料が直接触れないようにしてください。
- 建物の入隅部などに塗料が溜まりますと収縮割れを起こす可能性がありますので、均一に塗装してください。
- シーリング材の劣化などがある場合は打ち替えを行なってください。
- シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行なわないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、シルビアEプライマーを下塗りすることで不具合の軽減がはかれますが、それでも、シーリング材の種類、使用条件などにより、不具合が起こることがあります。
- 目地幅、隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位へのシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
- シーリング材が使用されている部位周辺は、シーリング材から溶出する可塑剤やシリコンオイルなどの付着により、充分な低汚染性が発揮されない場合があります。
- シルビアサーフは冬季および高湿度状態では塗膜の乾燥が極端に遅くなり、降雨や結露などで塗膜表面に白化などの異常を引き起こす可能性があります。このため、乾燥までの降雨や結露などの水分の影響を考慮して施工してください。また、シルビアサーフ大波工法で施工した場合の塗膜内部の乾燥不足状態で上塗を施工した場合、降雨や結露などで膨れなどの不具合が発生する可能性があります。シルビアサーフの乾燥を確認して上塗塗装を行なってください。
- 大気中の浮遊鉄成分の多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 頻繁に結露が発生している場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗膜中の成分が溶け出し、黄色い粘着成分が表面に発生する恐れがあります。

「シルビアサーフ」の取り扱い上の注意事項

..... (よく読んでご使用ください)

- 溶剤型シーラー、溶剤型塗料は火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 溶剤型シーラー、溶剤型塗料で万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 溶剤型シーラー、溶剤型塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- | | | | |
|--------|-----------------------------|----------------|------------------|
| 東京営業所 | 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 | ☎(03)3913-6203 | FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 | 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 | FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 | 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 | ☎(0566)81-8111 | FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 | 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 | ☎(06)6386-8492 | FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 | 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 | FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 | 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 | FAX(0942)89-5762 |

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoroyco.jp/>